

## 2021年2月のマーケットをザックリご紹介

- 最近気になるトピック : 長期金利の上昇と続く株高
- ピックアップカントリー : 米国、インド

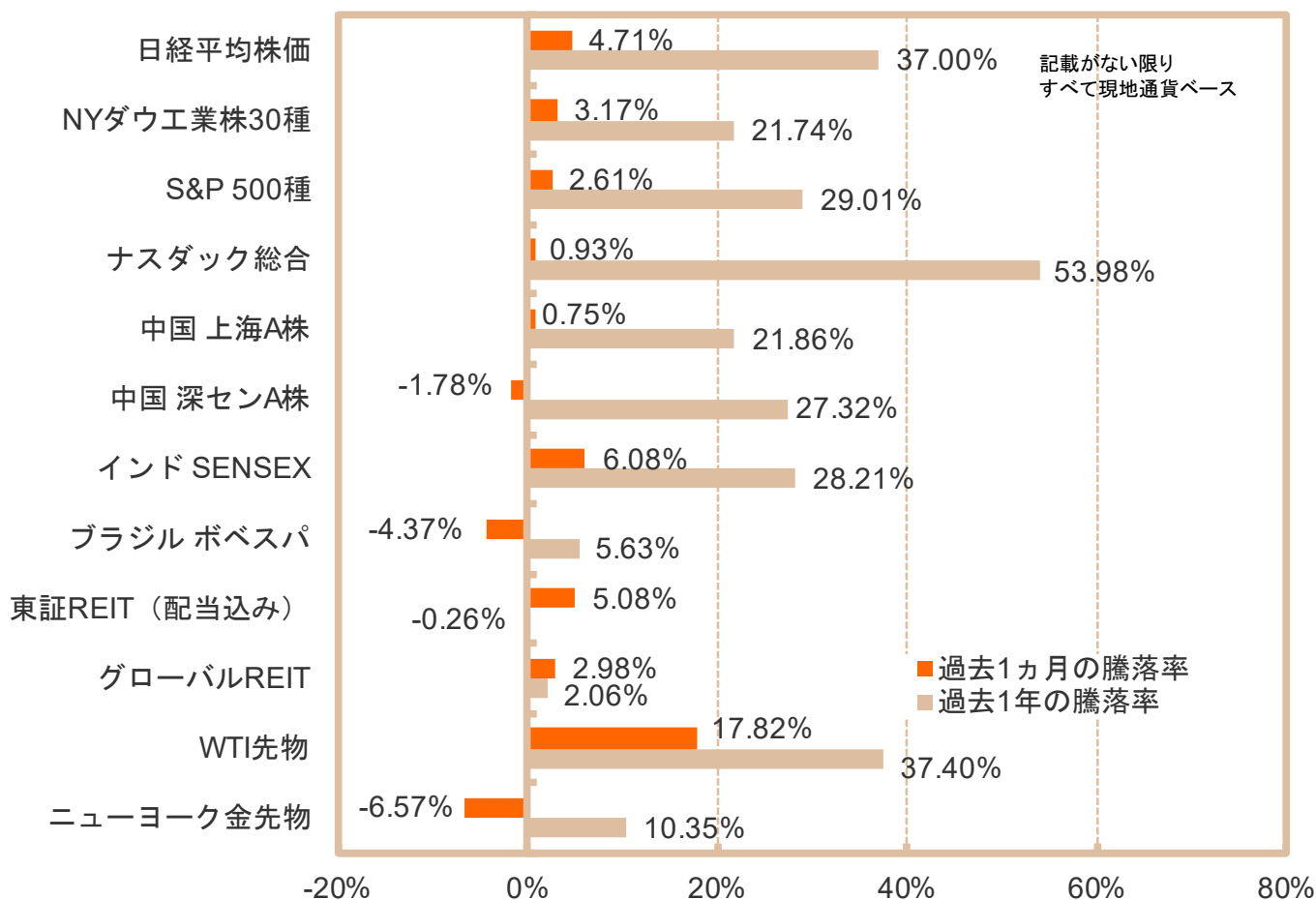
マンスリー・マーケット

nikko am  
fund academy

2月の世界の株式市場は、米国における大型経済対策の成立期待に加え、ワクチンの普及に伴う経済正常化への期待の高まりなどから、上昇基調となりました。米主要3株価指数が史上最高値を更新したほか、日経平均株価が約30年ぶりに3万円の台を回復しました。ただし、米長期金利の上昇などが懸念され、月末にかけては、これまで上昇のけん引役となってきたハイテク銘柄などを中心として、株価が下落しました。

## 主な指標の騰落率（株式、REIT、コモディティ）

(2021年2月末現在)



グローバルREIT : S&amp;PグローバルREIT指数(トータルリターン、米ドルベース)

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

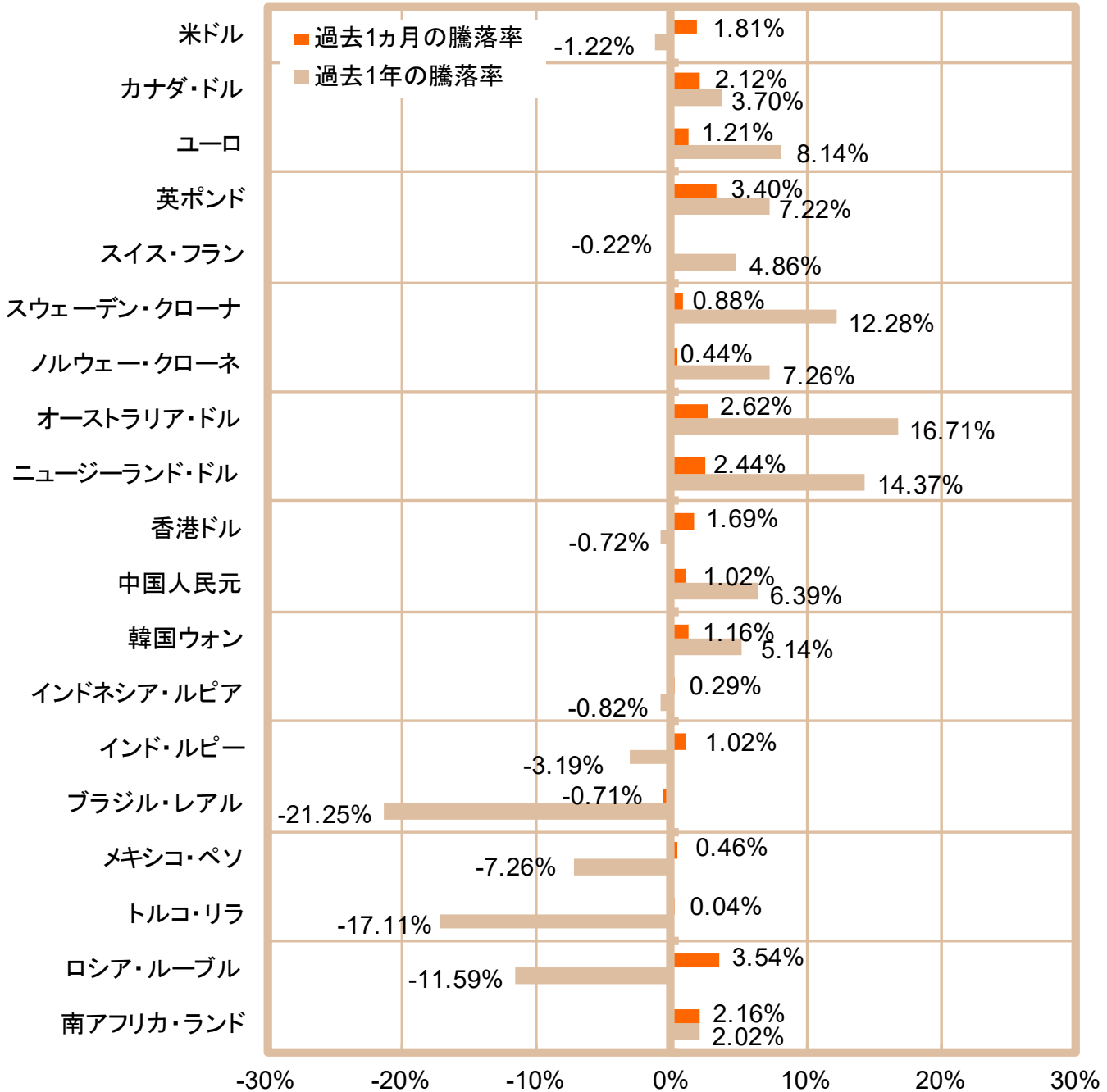
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

主な為替の騰落率(対円)

(2021年2月末現在)

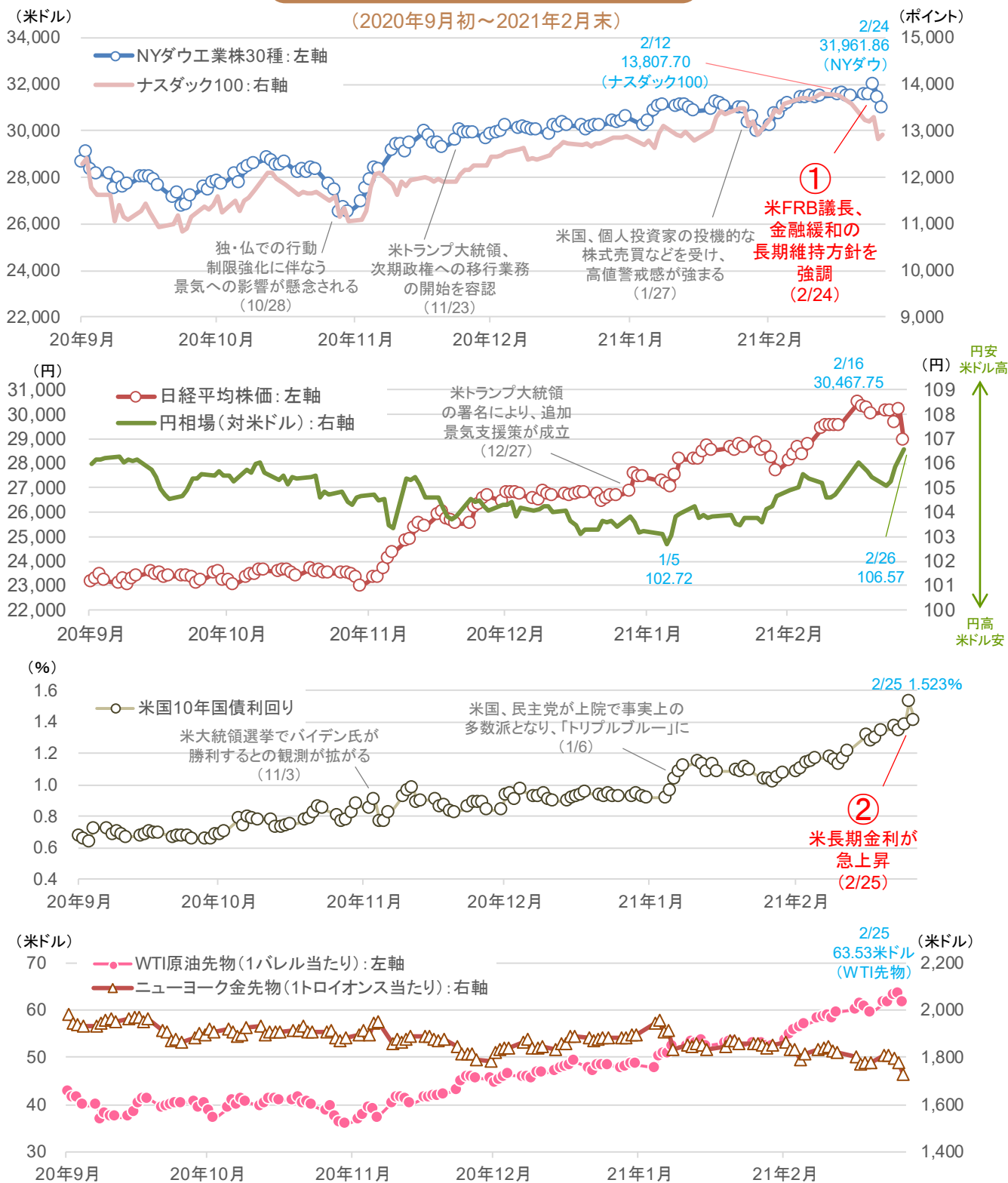
円高 ← → 各国通貨高



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

## 過去6カ月の市場の動向



※グラフ内の番号は次ページの「主な出来事」に対応しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 2021年2月の主な出来事

※表中の番号は前ページのグラフに対応しています。

	出来事	市場の反応	内容
雇用動向	米国 雇用者数が予想を下回ったことを受け、 経済対策成立への期待が高まる	○	● 5日に米国で発表された、1月の失業率は6.3%、平均時給も前年同月比+5.4%と、ともに予想より良好だったが、非農業部門雇用者数は前月比+4.9万人と、予想を下回ったほか、前月実績が下方修正された。米ドルが売られ、金先物は反発した。ただし、上下両院で予算決議案が可決されたこともあり、経済対策成立への期待が高まり、株価は続伸、S&P500、ナスダック総合の両指数が最高値を更新した。原油先物も続伸し、WTIは2020年1月以来の水準となった。また、国債利回りの上昇が続き、10年債では一時1.18%台と、2020年3月以来の水準となった。
金融政策	中国人民銀行 急激な政策変更は行なわない	○	● 中国では、中国人民銀行(中央銀行)が8日遅くに四半期の政策執行報告を公表し、金融政策の安定性を優先し、急激な変更は行なわないとした上で、景気回復とリスクの防止に向け、柔軟な政策運営を行なう意向を示した。9日には、金融引き締めへの警戒感が後退し、中国本土および香港で株価が続伸した。また、日本では、米国での経済対策の早期成立と、それに伴う景気の早期回復への期待などから、株価が続伸し、日経平均株価が1990年8月以来の高値をつけたほか、長期金利が上昇した。
政治動向	米国 上院での弾劾裁判が終わり、 経済対策成立への期待が高まる	○	● 13日、上院で開かれた弾劾裁判で、トランプ前大統領に無罪との評決が出た。同裁判が終わったことで、バイデン政権が掲げる経済対策の早期成立期待が高まった。また、新型コロナウイルスのワクチンに関して、14日に日本で製造販売が承認されたほか、英国で1,500万人が1回目の接種を終えるなど、普及の進展が好感されたこともあり、15日にアジアや欧州で株価が上昇し、独DAX指数は史上最高値を更新した。日本や欧州で国債利回りが上昇したほか、米ドルや円が売られ、円相場は1米ドル=105円台に下落した。なお、米国はプレジデントデーの祝日で休場だった。
金融政策	米国 FRB議長、 金融緩和の長期維持方針を強調	○	● 23日、FRB(連邦準備制度理事会)のパウエル議長は議会証言で、景気回復はまばらで完全とは程遠く、顕著な進展までにはしばらく時間がかかるとの見解を示した上で、FRBの政策支援がインフレの昂進や資産バブルを招くとは考えにくいとして、金融緩和を長期にわたって維持する方針を強調した。これを受け、英国や米国では株価が上昇したが、ハイテク株などは引き続き売られた。また、2月の消費者信頼感指数は91.3と、予想を上回った。国債利回りは、欧州では上昇、米国でも上昇する場面があったが、パウエル議長の発言を受けて低下した。24日には、ハイテク株の売りが波及し、アジアの多くの市場で株価が下落した。香港政府が経済対策の財源として株式取引に課す印紙税の引き上げを発表したこともあり、香港や中国では株価が大幅安となった。
金融政策	米国 FRB議長 物価目標達成には3年超要する可能性も ①	○	● 24日、米10年国債利回りが一時1.435%となるなど、長期金利が上昇し、欧州市場にも波及した。その後、FRBのパウエル議長は議会証言で、インフレ率が平均2%との目標を達成するのに3年超かかる可能性があるとの見解を示した。また、金融政策やさらなる経済対策による、景気過熱や高インフレ定着の可能性を一蹴し、金融緩和を継続する姿勢を示した。同証言を受け、米長期金利は上げ幅が縮まった。また、景気敏感株などを中心に欧米株式が買われ、米NYダウ工業株30種は最高値を更新した。
金利動向	米国 10年国債利回りが一時1.6%台に上昇 ②	×	● 25日に発表された、20日までの週の新規失業保険申請件数は予想以上に減少(改善)した。また、国債入札が低調だったこともあり、国債利回りが一段と上昇し、10年債では一時1.614%と、1.48%程度とみられるS&P500指数の配当利回りを上回った。ハイテク株など、高PER(株価収益率)銘柄が売られたほか、景気敏感株にも利益確定売りが拡がり、株式市場は大幅安となった。一方、米ドルが買われ、円相場は106円台に下落した。また、原油先物が続伸したが、金先物は続落した。

※上記データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、お金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

最近気になるトピック

長期金利の上昇基調と続く株高

足元で米国の長期金利の上昇基調が顕著となっています。2021年に入り、バイデン新政権における大型経済対策の成立期待が高まり、景気回復期待や物価上昇が意識されたことなどから、米10年国債利回りは1月初に1%の大台を超えました。そして、新型コロナウイルスの感染拡大にブレーキが掛かる中、ワクチンの普及によって経済の正常化が進展するとの期待が広がったことなどから、同利回りは、2月に入ってからも上昇を続け、26日には一時1.614%と、約1年ぶりの高水準となり、1.523%で2月を終えました。

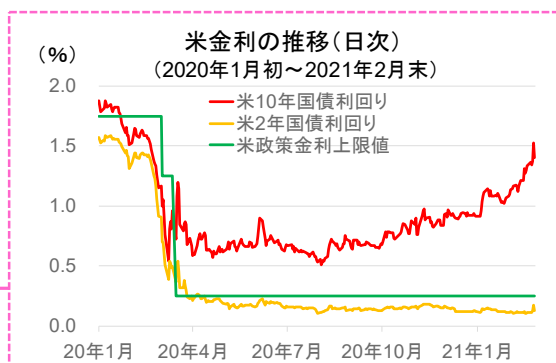
米国では、新型コロナウイルスの新規感染者数が2021年に入り大きく減少しており、春以降の経済活動再開期待が高まる状況となっています。また、バイデン大統領が目指している1.9兆米ドル規模の追加経済対策についても、議会の審議で大きく減額されることなく、3月に成立するとの期待が広がっています。こうしたことが、景気回復への期待だけでなく、財政悪化への警戒感につながり、長期金利を押し上げる要因になったと考えられます。一方、株式市場については、米国において長期金利の上昇基調が続く中でも、金融緩和の継続期待などから、2月も米主要3株価指数は史上最高値更新が続きました。景気回復基調を受けて、一部市場で広がっていた年内のテーパリング(量的緩和縮小)開始観測について、パウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長が「時期尚早」と述べて一蹴したことも、買い安心感につながったと考えられます。2月に発表された米主要経済指標をみると、予想を上回るものが多く確認される一方、FRBが重視する雇用については回復ペースが鈍い状況となっています。FRBは「物価の安定」に加えて「雇用の最大化」をめざしていることから、それが実現され、景気回復の恩恵が経済全体に行き届くまでは、景気回復の道筋を辿る中でも、足元の緩和的な金融政策は継続されるとみられます。また、足元の景気動向などを踏まえ、24日の議会証言において、パウエルFRB議長がインフレ目標の達成には3年超の期間を要するとの認識を示したことも、こうした見方を支えるものとみられます。

米国株式市場は、長期金利の急ピッチな上昇を受け、月末に大きく下落しました。この先、景気回復期待などを背景に長期金利上昇への警戒感が続く場合、これまで米国株式市場のけん引役となってきたハイテク株などを中心に、変動率が高まる可能性は考えられます。しかしながら、コロナ後もデジタル化普及の波は続くと思われる中、これら関連銘柄についてはビジネスチャンスの広がりなどを視野に押し目買いの動きが広がるのが想定されるほか、景気回復に伴う業績改善が見込まれる銘柄への物色の広がりが株式市場の下支え要因となることが期待されます。

米金利およびS&P500種指数の推移(月次)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成



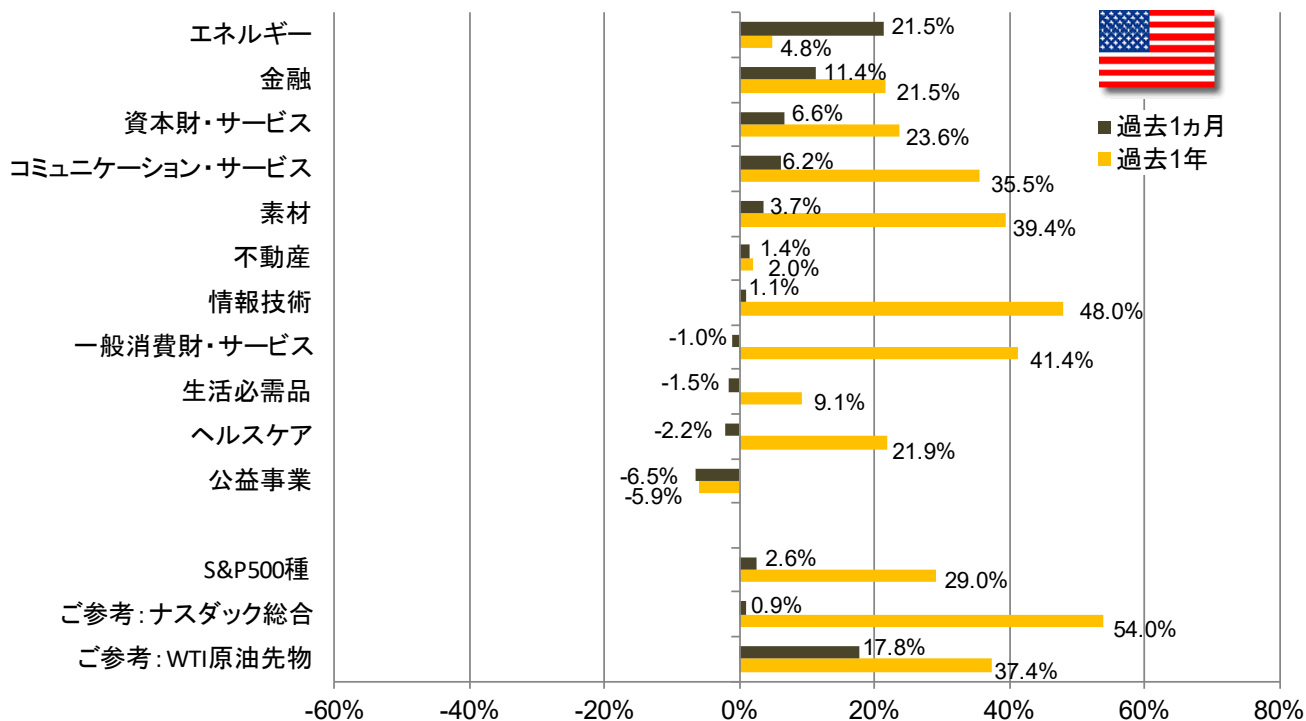
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、お金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 米国株式市場の動向

(2021年2月末現在)



## 過去5年の米ドルインデックスの推移

(2016年2月末～2021年2月末)



※米ドルインデックスは主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

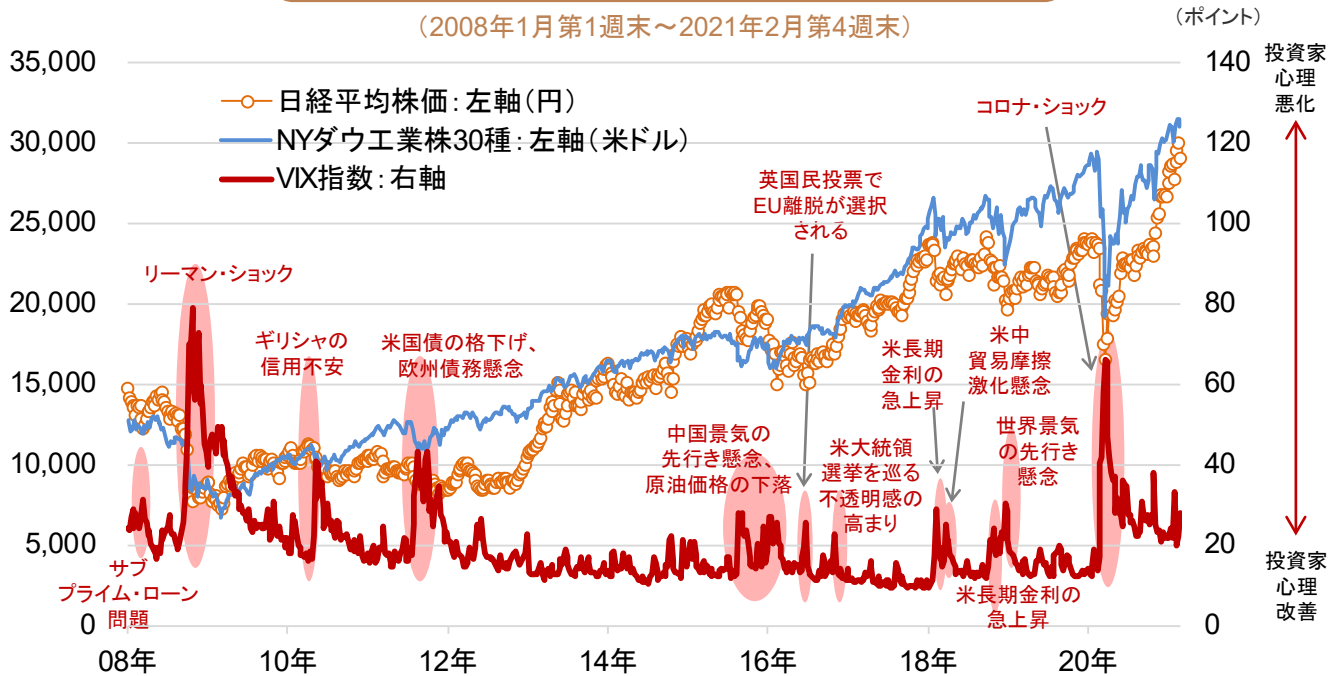
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、お金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 投資家心理とマーケット動向

(2008年1月第1週末～2021年2月第4週末)



VIX指数は、米国の代表的な株価指数S&P500種指数を対象とするオプション取引の値動きをもとに算出される、株価の先行きの変動率（ボラティリティ）を示唆する指標で、「恐怖指数」とも呼ばれています。一般に、市場の不安心理を反映して同指数が上昇する局面では、株価が軟調となる一方、市場心理の改善/安定を反映して、同指数が低下/低位横ばいとなる局面では、株価は堅調とされています。



※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。  
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 今月のピックアップカントリー①



米国

- ✓ 主な輸出品目 : 自動車部品、工業用機械、航空機、自動車、医薬品
- ✓ 面積 : 約962.8万km<sup>2</sup>
- ✓ 人口 : 3億3,006万人

出所: 外務省



### <中長期的な投資の魅力>

- 米国は、世界最大の経済規模を誇っています。また、米ドルはその信頼性の高さなどから、世界の基軸通貨となっています。天然資源が豊富であること、インフラが整っていること、生産性の高い労働力を有していること、そして、イノベーションを生み出す土壌があり、世界最大級の消費市場であることなどが、同国の経済成長の原動力になっています。**新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、経済活動が回復に向かうようであれば、今後も、力強い経済成長を続けるとみられます。**

### <経済・政治動向について>

- 昨年春、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことを受け、米国では、未曾有の金融緩和が実施されたものの、GDP成長率は、2020年4-6月期に大きく落ち込みました。ただし、大人1人1,200米ドルの現金給付といった景気刺激策の効果などもあり、夏場にかけて景気は回復し、GDP成長率は7-9月期には大きくプラスに転じました。
- 夏の間、新規感染者数の増加は続いたものの、経済への影響が大きくなる「ロックダウン(都市封鎖)」という措置ではなくマスク着用の義務化やソーシャルディスタンスの徹底といった形での措置が多く州でとられました。しかしながら、その後、冬場にかけて、新規感染者数の増加が続き、移動制限を強化する州がみられました。
- すでにワクチン接種が開始されていることは、2021年の米国経済成長を見通す上で、明るい材料と言えます。ワクチン接種進展などに伴ない、景気回復基調が継続するようであれば、金利の上昇は続く可能性があります。
- FRB(米連邦準備制度理事会)は、雇用環境は十分ではなく、物価が一定期間の平均で2%の目標を達成しないと見込んでいることなどもあり、2024年初頭くらいまでは、金融政策の転換は行なわない可能性があります。

### <今後の注目点について>

- 年始の米ジョージア州における連邦議会上院の決選投票の結果、大統領職と上下両院の事実上過半数を民主党が占める「トリプルブルー」が実現したことにより、バイデン大統領が提案する1.9兆米ドル規模の追加経済対策は、議会を通過することが期待されています。ただし、共和党からの抵抗を受ける可能性が未だ残されている点には注意が必要です。
- 米財務省は、政府現金残高を6月末までに現状の1.6兆米ドル前後から5千億米ドルに削減する方針を示しました。現金残高の規模を通常の水準に戻すことをねらいとしているものの、これに伴ない、金融市場に流動性が溢れ、短期金利がさらに低下し、マイナス圏に落ち込む可能性があることには注意が必要です。

### <リスクについて>

- 他国と同様、米国においても、ポスト・コロナの経済の行方が主なリスクと考えられます。足元では、英国、南アフリカで出現した新型コロナウイルスの変異株が米国でも確認されており、今後の経済正常化への動きを阻む可能性が考えられます。
- 2021年はワクチンの年となるとみられ、ワクチンの普及が進むかどうか経済の先行きを見通す上での鍵になると考えられます。

※上記コメントは2021年2月時点のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。



## 今月のピックアップカントリー②



### インド

- ✓ 主な輸出品目 : 石油製品、宝石類、機械、化学製品
- ✓ 主要産業 : 農業、工業、鉱業、IT
- ✓ 面積 : 約329万km<sup>2</sup>

出所: 外務省



### <中長期的な投資の魅力>

- インドの人口は約13億人と、中国に次ぎ世界で第2位の規模を誇ります。また、経済成長に伴ない、人口に占める中間所得層の割合も増加しており、個人消費の拡大などを通じて、同国の中長期的な経済成長に寄与することが期待されます。
- 近年、政府が行なった改革は、官僚主義を排し、同国の長期的な成長率を高めることに寄与していると考えられます。政府は、州ごとに異なる間接税を全国で一本化する物品・サービス税(GST)を2017年7月に導入しました。また、同国では、人口の増加や労働参加率の上昇、高等教育への進学者の増加などを背景に、労働力が拡大しており、その恩恵が広がっています。

### <経済・政治動向について>

- 2020年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、同国経済に大きな悪影響を及ぼしました。感染拡大抑制に向けたロックダウン(都市封鎖)措置の実施により、失業者は大幅に増加しました。また、出稼ぎ労働者が失職し、都市部から農村部へ移ったことによって、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がるなど、同国の感染状況を悪化させる事態につながりました。
- 新型コロナウイルスの流行後、ムンバイなどの都市部においては経済活動の厳しい制限が継続された一方、地方では中心産業の農業が雨期の天候にも恵まれたことから、景気回復のけん引役となっています。また、中央銀行は、景気を下支えするため、政策金利を4%まで引き下げるなど、積極的な金融緩和策を実施しています。
- ロックダウンでの供給混乱による農作物価格の上昇や、ガソリンなどに課される燃料税の上限引き上げなどを受け、インフレ率は上昇したものの、2020年12月には減速し、中央銀行の目標レンジに収まりました。
- 同国の新型コロナウイルス新規感染者数は足元で減少傾向となっており、既に同国では集団免疫が獲得されたと推測する声もあります。感染状況の落ち着きに伴ない、経済活動の正常化が進んでいます。

### <今後の注目点について>

- インフレ率は足元で落ち着きを見せているものの、**景気回復に伴なう需要増加や、原油価格の上昇を背景に、インフレ圧力が再び高まる可能性があります。**
- インド財務省が発表した2021年度(21年4月~22年3月)の当初予算案は、歳出総額が前年度に比べ約15%増額され、大規模なインフラ投資などが中心の内容となっています。インフラへの投資を呼び水に、低迷する経済成長を再び加速させることをめざしています。

### <リスクについて>

- 景気刺激のための歳出増加に伴ない、同国の財政赤字はGDP比6.8%に拡大する見通しです。財政状態の悪化は、格付会社からの評価に影響する可能性があるものの、政府が進める構造改革や投資の増加などが同国の中長期的な成長力を高めることになれば、こうした懸念も軽減されると考えられます。
- 世界的に再生可能エネルギーへの関心が高まる中、同国は依然として石油や石炭などの化石燃料の消費が多く、**エネルギー輸入への依存度が高い状態が続いています。**

※上記コメントは2021年2月時点のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 主要指標の動き①

(2021年2月末現在)

	指標	当月末	騰落率(%)							
			2020年末比	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	10年
株式	先進国(除く日本)注1	14,107.92	1.69	2.69	6.05	11.52	30.07	40.19	101.27	168.54
	新興国注2	3,170.21	3.89	0.77	11.57	22.46	36.51	21.63	106.98	59.46
日本	日経平均株価	28,966.01	5.55	4.71	9.58	25.18	37.00	31.26	80.74	172.64
	TOPIX(東証株価指数)	1,864.49	3.31	3.08	6.24	15.22	23.41	5.44	43.66	96.00
	JPX日経インデックス400	16,871.64	3.24	2.81	5.75	15.47	24.20	8.06	43.52	n.a.
	JPX日経中小型株指数	15,114.28	0.50	0.35	4.80	10.95	24.98	▲ 3.18	51.66	189.09
	日経ジャスダック平均	3,798.00	2.11	0.62	3.79	7.53	15.27	▲ 8.47	61.95	183.90
	東証マザーズ	1,214.09	1.47	0.42	▲ 1.49	8.24	73.29	▲ 2.02	44.76	142.30
	北米	NYダウ工業株30種	30,932.37	1.06	3.17	4.37	8.80	21.74	23.59	87.28
S&P 500種		3,811.15	1.47	2.61	5.23	8.88	29.01	40.43	97.24	187.15
ナスダック総合		13,192.35	2.36	0.93	8.15	12.03	53.98	81.39	189.44	374.16
ナスダック100		12,909.44	0.16	▲ 0.12	5.23	6.60	52.56	88.34	207.29	449.11
カナダ トロント総合		18,060.26	3.60	4.17	5.06	9.36	11.05	16.95	40.43	27.76
欧州	英国 FTSE100	6,483.43	0.35	1.19	3.47	8.72	▲ 1.48	▲ 10.35	6.34	8.17
	ドイツ DAX指数	13,786.29	0.49	2.63	3.73	6.50	15.95	10.86	45.19	89.57
	ユーロ・ストックス	405.70	2.05	3.55	4.10	12.51	11.10	6.09	29.59	39.02
	ストックス・ヨーロッパ600指数	404.99	1.49	2.31	4.01	10.50	7.81	6.68	21.28	41.37
アジア・オセアニア	中国 上海総合	3,509.08	1.04	0.75	3.46	3.34	21.83	7.66	30.55	20.79
	中国 上海A株	3,678.27	1.04	0.75	3.46	3.35	21.86	7.75	30.77	20.93
	中国 深センA株	2,400.14	▲ 1.54	▲ 1.78	1.95	▲ 0.10	27.32	26.69	39.71	76.94
	中国 創業板	2,914.11	▲ 1.76	▲ 6.86	10.72	6.81	40.67	66.18	54.99	164.97
	中国 中小企業板	12,778.34	0.40	▲ 1.04	2.71	▲ 1.27	24.22	17.61	34.35	72.84
	香港 ハンセン指数	28,980.21	6.42	2.46	10.02	15.11	10.91	▲ 6.04	51.63	24.18
	香港 ハンセン中国企業株(H株)	11,247.21	4.74	0.34	6.64	12.57	9.17	▲ 9.17	42.08	▲ 10.05
	香港 ハンセン中国レッドチップ	4,074.59	7.24	5.17	8.74	2.44	1.02	▲ 9.84	19.39	1.91
	台湾 加権指数	15,953.80	8.29	5.39	16.26	26.70	41.28	47.51	89.67	85.52
	韓国 KOSPI	3,012.95	4.85	1.23	16.27	29.52	51.63	24.12	57.20	55.36
	シンガポール ST	2,949.04	3.70	1.60	5.10	16.45	▲ 2.06	▲ 16.17	10.60	▲ 2.04
	タイ SET	1,496.78	3.27	2.03	6.28	14.20	11.66	▲ 18.21	12.34	51.51
	インドネシア ジャカルタ総合	6,241.80	4.39	6.47	11.21	19.15	14.47	▲ 5.39	30.83	79.86
	フィリピン 総合	6,794.86	▲ 4.83	2.76	0.05	15.48	0.10	▲ 19.83	1.86	80.39
	ベトナム VN	1,168.47	5.85	10.59	16.49	32.53	32.45	4.18	108.89	153.26
	インド SENSEX	49,099.99	2.82	6.08	11.21	27.11	28.21	43.63	113.46	175.48
	豪州 S&P/ASX200	6,673.27	1.31	1.00	2.39	10.11	3.60	10.93	36.72	38.12
ニュージーランド NZSX 浮動株50	12,227.29	▲ 6.60	▲ 6.86	▲ 4.24	2.43	8.58	46.02	96.24	262.77	
中南米	ブラジル ボベスバ	110,035.20	▲ 7.55	▲ 4.37	1.05	10.73	5.63	28.92	157.13	63.30
	メキシコ IPC	44,592.91	1.19	3.74	6.74	21.04	7.91	▲ 6.00	2.01	20.46
	アルゼンチン メルバル	48,432.27	▲ 5.45	0.36	▲ 11.25	3.41	38.48	46.72	269.26	1301.54
東欧	ロシア RTS(米ドル建て)	1,411.93	1.76	3.24	10.14	12.18	8.64	9.84	83.65	▲ 28.33
	ポーランド ワルシャワ WIG	56,970.30	▲ 0.10	▲ 0.01	8.23	10.34	15.61	▲ 7.67	25.40	19.83
	トルコ イスタンブール100種	1,471.39	▲ 0.36	▲ 0.14	14.63	36.42	38.82	23.70	94.08	140.09
その他	南アフリカ FTSE/JSE アフリカ全株指数	66,138.05	11.33	5.87	15.84	19.22	29.59	13.40	33.84	104.94
	エジプト EGX30	11,525.02	6.27	▲ 0.18	5.32	1.40	▲ 11.41	▲ 25.51	87.49	104.11

● 休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

注1 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドル・ベース)

注2 新興国株価指数 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドル・ベース)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

## 主要指標の動き②

(2021年2月末現在)

指標	当月末	2020年末比	騰落率(%)							
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年	
債券										
日本国債 注3	363.04	▲ 1.39	▲ 1.04	▲ 1.34	▲ 1.07	▲ 3.92	0.56	1.13	19.09	
先進国(除く日本)国債 注4	1,168.05	▲ 3.50	▲ 2.35	▲ 2.12	▲ 1.15	4.76	12.66	18.77	33.50	
新興国債券 注5	902.29	▲ 5.44	▲ 3.68	▲ 3.59	▲ 2.06	▲ 0.16	10.93	24.82	64.32	
商品など										
東証REIT(配当込み)	4,207.24	9.14	5.08	15.72	12.64	▲ 0.26	27.82	25.17	161.32	
グローバルREIT指数 注6	613.89	2.83	2.98	7.05	12.32	2.06	21.83	33.00	95.48	
WTI先物	61.50	26.75	17.82	35.64	44.33	37.40	▲ 0.23	82.22	▲ 36.58	
ニューヨーク金先物	1,728.80	▲ 8.78	▲ 6.57	▲ 2.93	▲ 12.63	10.35	31.18	40.05	22.62	
鉄鉱石(鉄分62%) 注7	165.58	8.26	6.10	33.96	31.58	106.72	119.05	256.85	-	
CRB指数	190.43	13.49	9.32	18.98	24.29	19.43	▲ 1.81	16.68	▲ 45.99	
S&P MLP 指数	3,632.65	14.75	7.73	17.31	29.94	▲ 0.21	▲ 16.88	5.56	▲ 6.87	
S&P BDC 指数	263.45	12.87	10.16	15.00	32.29	13.98	29.24	58.89	77.19	

為替(米ドルインデックスを除き、対円)	当月末	2020年末比	騰落率(%)						
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年
北米									
米ドルインデックス	90.88	1.05	0.33	▲ 1.08	▲ 1.37	▲ 7.39	0.29	▲ 7.47	18.20
米ドル	106.57	3.22	1.81	2.17	0.62	▲ 1.22	▲ 0.10	▲ 5.43	30.31
カナダ・ドル	83.65	3.11	2.12	4.27	3.06	3.70	0.62	0.52	▲ 0.62
欧州									
ユーロ	128.67	1.97	1.21	3.42	1.79	8.14	▲ 1.08	5.01	13.96
英ポンド	148.40	5.13	3.40	6.79	4.81	7.22	1.10	▲ 5.38	11.62
スイス・フラン	117.31	0.54	▲ 0.22	2.20	0.10	4.86	3.87	3.93	33.24
スウェーデン・クローナ	12.64	0.65	0.88	3.94	3.21	12.28	▲ 1.79	▲ 3.94	▲ 2.27
アイスランド・クローネ	0.837	3.52	2.79	6.84	8.67	▲ 1.90	▲ 20.41	▲ 3.42	18.86
ノルウェー・クローネ	12.29	2.09	0.44	4.93	1.44	7.26	▲ 8.95	▲ 5.16	▲ 15.88
デンマーク・クローネ	17.30	2.03	1.23	3.48	1.85	8.46	▲ 0.99	5.30	14.23
アジア・オセアニア									
中国人民元	16.45	4.22	1.02	3.94	6.46	6.39	▲ 2.66	▲ 4.52	32.22
香港ドル	13.73	3.07	1.69	2.07	0.51	▲ 0.72	0.76	▲ 5.22	30.80
台湾ドル	3.82	3.95	2.29	4.69	6.14	7.08	4.93	12.98	39.00
韓国ウォン(100ウォン当たり)	9.47	▲ 0.14	1.16	0.79	6.25	5.14	▲ 3.64	4.08	30.31
シンガポール・ドル	79.96	2.34	1.45	2.86	2.70	3.20	▲ 0.70	▲ 0.19	24.33
マレーシア・リンギ	26.22	2.18	1.33	2.48	3.09	1.70	▲ 4.09	▲ 2.33	▲ 2.19
タイ・バーツ	3.50	1.65	▲ 0.05	1.56	2.62	2.02	3.26	10.60	30.89
インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.749	1.31	0.29	1.55	3.07	▲ 0.82	▲ 3.44	▲ 11.16	▲ 19.25
フィリピン・ペソ	2.18	1.73	0.43	1.21	0.11	2.44	6.26	▲ 8.11	16.37
ベトナム・ドン(100ドン当たり)	0.463	3.49	1.89	2.66	1.25	▲ 0.49	▲ 1.30	▲ 8.39	18.18
インド・ルピー	1.45	2.54	1.02	2.87	0.81	▲ 3.19	▲ 11.41	▲ 11.97	▲ 19.72
オーストラリア・ドル	82.13	3.34	2.62	7.20	5.13	16.71	▲ 0.82	2.04	▲ 1.41
ニュージーランド・ドル	77.08	3.91	2.44	5.31	8.09	14.37	0.20	3.79	25.27
中南米									
ブラジル・レアル	19.03	▲ 4.31	▲ 0.71	▲ 2.23	▲ 1.27	▲ 21.25	▲ 42.09	▲ 32.16	▲ 61.27
メキシコ・ペソ	5.11	▲ 1.55	0.46	▲ 1.14	5.62	▲ 7.26	▲ 9.76	▲ 17.76	▲ 24.38
アルゼンチン・ペソ	1.19	▲ 3.40	▲ 1.10	▲ 7.54	▲ 16.98	▲ 31.82	▲ 77.63	▲ 83.34	▲ 94.16
コロンビア・ペソ(100ペソ当たり)	2.92	▲ 3.01	▲ 0.11	0.83	3.20	▲ 4.69	▲ 21.41	▲ 14.59	▲ 31.84
チリ・ペソ(100ペソ当たり)	14.72	1.24	3.29	7.55	7.90	9.42	▲ 17.91	▲ 9.01	▲ 14.51
ペルー・ヌエボ・ソル	29.20	2.29	1.46	0.98	▲ 2.32	▲ 6.61	▲ 10.61	▲ 8.70	▲ 0.96
東欧									
ロシア・ルーブル	1.43	2.41	3.54	4.73	▲ 0.13	▲ 11.59	▲ 24.48	▲ 5.40	▲ 49.56
ポーランド・ズロチ	28.46	2.84	1.27	2.44	▲ 0.98	3.35	▲ 8.63	1.01	▲ 0.26
ハンガリー・フォリント(100フォリント当たり)	35.50	1.99	▲ 0.18	2.26	▲ 0.21	0.70	▲ 14.35	▲ 10.16	▲ 14.79
ルーマニア・レイ	26.39	1.60	1.19	3.41	0.99	6.56	▲ 5.55	▲ 3.82	▲ 1.76
トルコ・リラ	14.31	2.93	0.04	7.39	▲ 0.75	▲ 17.11	▲ 49.01	▲ 62.33	▲ 72.03
その他									
南アフリカ・ランド	7.05	0.31	2.16	4.52	12.83	2.02	▲ 22.03	▲ 0.69	▲ 39.92
エジプト・ポンド	6.78	3.32	1.91	1.74	1.60	▲ 1.82	12.24	▲ 52.90	▲ 51.18

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナスの場合は円高)

- 注3 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース)
- 注4 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・米ドルベース)
- 注5 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・米ドル・ベース)
- 注6 グローバルREIT指数 : S&PグローバルREIT指数(トータルリターン、米ドル・ベース)
- 注7 鉄鉱石 : 原則として、月末前日の値

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。  
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、お金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

**nikko am**  
fund academy 

日興AM  
ファンドアカデミー  
とは？

投資信託を「つくる」会社、日興アセットマネジメントが  
2008年にスタートした、投資教育のプラットフォーム。  
「すべての投資信託に共通する大切なこと」をテーマに、  
より深い理解と納得のもと購入していただくための活動を展開しています。

